

事務事業評価シート(平成27年度実施事務事業)

担当部署名	上下水道部浄水課	担当課長名	朝野 武彦
(※)第2期実施計画の事業名	浄水施設更新事業	財務会計上の事業名	
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	3061 1	財務会計上の短縮番号	
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち	
	節	第6節上水道事業の充実	
	項目	項目1施設更新事業の推進	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input checked="" type="checkbox"/> 企業会計 (水道事業)
事業の目的 (どのような結果を得るか)	浄水施設の長寿命化も図りながら、更新事業を実施するとともに、基幹施設の耐震化を実施する。
事業の対象 (誰を、何を)	古江浄水場、各水道施設
事業の手段・方法 (どのように)	電気、機械設備の更新及び耐震補強の実施
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 23 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度 ～ 平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	

2 事業費等

区分	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (予算)	H27/H26	
事業費(千円)	490,964	495,783	587,055	1,040,008	118.4%	
主な内訳	施設整備費	428,886	435,097	515,495	913,229	118.5%
	建設改良費	62,078	60,686	71,560	126,779	117.9%
人件費(人・千円)	0.50 3,900	0.50 3,900	0.83 6,308	0.85 6,290	166.0%	
内訳	正職員	0.50 3,900	0.50 3,900	0.83 6,308	0.85 6,290	166.0%
	再任用短時間勤務職員	0	0	0	0	-
	任期付職員(フルタイム)	0	0	0	0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0	0	0	0	-
	非常勤職員	0	0	0	0	-
臨時的任用職員	0	0	0	0	-	
支出合計 A	494,864	499,683	593,363	1,046,298	118.7%	
財源	国・府支出金					-
	地方債	214,400	217,500	257,700	456,600	118.5%
	その他()					-
	うち受益者負担 B					-
一般財源 C	280,464	282,183	335,663	589,698	119.0%	
一般財源比率 C÷A	56.7%	56.5%	56.6%	56.4%	100.2%	
受益者負担率 B÷A					-	
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し					
上記の内容						

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	古江浄水場1,2系耐震補強工事について工事監理業務を委託している。
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	事業が主に民間に発注する工事であり、施設を稼働しながらの施工となるため、既設との取り合い調整等は職員で行う方が望ましい。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内 容	単 位	25年度	26年度	27年度	28年度	目標値 (H30)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
指 標 値	☆	活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	古江浄水場1,2系耐震工事実施率	%		27.7	52.6	100.0
	☆	活動 <input type="checkbox"/> 成果 <input checked="" type="checkbox"/>	古江浄水場1,2系ろ過池更新工事更新率	%		18.0	40.5	100.0
	☆	活動 <input type="checkbox"/> 成果 <input checked="" type="checkbox"/>	排水処理場機械電気設備更新工事更新率	%		27.1	100.0	100.0
		活動 <input type="checkbox"/> 成果 <input type="checkbox"/>						
成果の達成状況				<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない				
選択の理由				耐震補強工事に若干の遅れは見られるが順調に施工が進んでいる				
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)				
	事業は効率的に実施できているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)				
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)			他の工事の工程調整も順調に施工されており、概ね問題はない。				

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成23年度～平成27年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 26 年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	平成27年度から2カ年で施工予定の古江浄水場1,2系耐震補強及び古江浄水場1,2系ろ過池更新工事について、水処理を行いながらの施工となることから、4カ年とした。	
平成28年度の取組(平成27年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	現状の工程に沿って古江浄水場1,2系耐震工事及び古江浄水場1,2系ろ過池更新工事については平成30年度の竣工、排水処理場機械電気設備工事については平成28年度の竣工を目指す。	
現在抱える課題と対策	課 題	施設の老朽化が進んでおり、一部耐震補強が必要な施設がある。
	対 策	計画的に施設更新、耐震補強の施工を行う。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成29年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	成果の達成状況は、順調に推移している。今後も、施設整備計画に基づき、施設の更新・耐震補強事業を継続していく。	

事務事業評価シート(平成27年度実施事務事業)

担当部署名	上下水道部水道工務課	担当課長名	加藤 正和
(※)第2期実施計画の事業名	配水施設更新事業	財務会計上の事業名	
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	3061 2	財務会計上の短縮番号	
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち	
	節	第6節上水道事業の充実	
	項目	項目1施設更新事業の推進	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input checked="" type="checkbox"/> 企業会計 (水道事業)
事業の目的 (どのような結果を得るか)	有収率と耐震化の向上により、収益と災害に対応出来る強固な管路の構築
事業の対象 (誰を、何を)	老朽化した配水管(耐用年数40年以上経過管)
事業の手段・方法 (どのように)	老朽化した配水管を耐震管に布設替する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 23 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度 ～ 平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	

2 事業費等

区分	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (予算)	H27/H26	
事業費(千円)	220,539	233,056	331,039	450,600	142.0%	
主な内訳	配水管布設費	220,539	233,056	331,039	450,600	142.0%
						-
人件費(人・千円)	0.80 6,240	0.80 6,240	0.80 6,080	0.90 6,660	100.0%	
内訳	正職員	0.80 6,240	0.80 6,240	0.80 6,080	0.90 6,660	100.0%
	再任用短時間勤務職員	0	0	0	0	-
	任期付職員(フルタイム)	0	0	0	0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0	0	0	0	-
	非常勤職員	0	0	0	0	-
臨時的任用職員	0	0	0	0	-	
支出合計 A	226,779	239,296	337,119	457,260	140.9%	
財源	国・府支出金					-
	地方債	119,100	225,000	150,600	155,200	66.9%
	その他()					-
	うち受益者負担 B					-
一般財源 C	107,679	14,296	186,519	302,060	1304.7%	
一般財源比率 C÷A	47.5%	6.0%	55.3%	66.1%	926.1%	
受益者負担率 B÷A					-	
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し					
上記の内容						

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	事業は主に民間に発注する工事であり、事業計画、工事調整は職員で行う方が望ましい。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内容	単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (予定)	目標値 (H30)
指標値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	老朽管の更新 (耐震管に更新3~4km/年)	m	3,349	2,284	3,319	3,690	4,000
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	老朽管の残存延長(総延長約60km)	m	49,794	47,510	44,191	40,501	32,501
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由	平成27年度については当初予定していた箇所の工事を行うことができたため。							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)	全ての老朽管を更新することが目標であるが、重要施設への供給ルートを優先して耐震化更新することにより災害時の被害を最小限に抑えることができる。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成23年度～平成27年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成28年度の取組(平成27年度比)	<input checked="" type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	更新のスピードを図るため、年度毎の予算を上積みして計上	
現在抱える課題と対策	課題	大口径の幹線管路の更新。
	対策	代替ルート等、複数ルート化の検討
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成29年度以降)の取組方針		
取組方針	<input checked="" type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	成果の達成状況は、順調に推移している。今後は、大口径の基幹管路も含め更新のスピードアップ等、施設整備計画の範囲内で事業の拡充が必要と考える。	

事務事業評価シート(平成27年度実施事務事業)

担当部署名	上下水道部 水質管理課	担当課長名	乾 弘志
(※)第2期実施計画の事業名	水質検査体制強化事業	財務会計上の事業名	
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	3062 1	財務会計上の短縮番号	
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち	
	節	第6節上水道事業の充実	
	項目	項目2安全で安定した水の供給	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input checked="" type="checkbox"/> 企業会計 (水道事業)
事業の目的 (どのような結果を得るか)	水質検査体制の強化を図り、市民からの信頼性を高める
事業の対象 (誰を、何を)	水道水の水質検査
事業の手段・方法 (どのように)	自己検査項目の拡大及び水道GLPの維持を行い、また、自動水質監視設備については平成28年度から給水区域ごとに1箇所以上の設置を行う。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 21 年度～):水道GLP <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度 ～ 平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	

2 事業費等

区分	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (予算)	H27/H26	
事業費(千円)	585	54	7,249	90,081	13424.1%	
主な内訳	手数料	585	54	337	54	624.1%
	施設整備費			6,912	90,027	-
人件費(人・千円)	0.95 7,410	0.95 7,410	1.15 8,740	1.05 7,770	121.1%	
内訳	正職員	0.95 7,410	0.95 7,410	1.15 8,740	1.05 7,770	121.1%
	再任用短時間勤務職員	0	0	0	0	-
	任期付職員(フルタイム)	0	0	0	0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0	0	0	0	-
	非常勤職員	0	0	0	0	-
臨時的任用職員	0	0	0	0	-	
支出合計 A	7,995	7,464	15,989	97,851	214.2%	
財源	国・府支出金					-
	地方債			3,400	45,000	-
	その他()					-
	うち受益者負担 B					-
一般財源 C	7,995	7,464	12,589	52,851	168.7%	
一般財源比率 C÷A	100.0%	100.0%	78.7%	54.0%	78.7%	
受益者負担率 B÷A					-	
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し					
上記の内容	受益者負担がないため					

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	自動水質監視設備の設計業務を委託。
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	日本水道協会より水道GLPの審査を受ける立場のため

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内容	単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (予定)	目標値 (H30)
指標値	☆ <input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	自己検査項目の拡大	項目	42	41	46	46	46
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	水道GLP中間審査の認定	%	-	-	100	-	-
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	水道GLP更新審査の認定	%	100	-	-	-	-
	☆ <input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	末端給水栓における自動水質監視設備の設置箇所	箇所	4	4	4	6	9
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果						
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		自己検査項目を46項目まで拡大し、水道GLPの中間審査で継続が承認されたため。						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)		自己水の比率が高いため、水質検査体制の強化と検査結果の信頼性確保(水道GLP)の継続は必要である。効率性については、検査資格者の複数化を進め、柔軟な検査体制の構築を見込んでいく。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成23年度～平成27年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 27 年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	自動水質監視設備の設置場所及び測定項目について検討を行い、見直しを実施。	
平成28年度の取組(平成27年度比)	<input checked="" type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	自動水質監視設備については平成28年度から新設と更新を行い、監視体制の強化を図る。	
現在抱える課題と対策	課題	各検査に係る検査担当者の育成に時間を要するため、検査担当者の複数化が進んでいない。
	対策	複数化の進んでいない検査項目について、優先的に検査担当者の育成を行う。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成29年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	成果の達成状況は、順調に推移している。今後も、GLPの継続と担当者の育成等検査体制の強化に向け、事業を継続していく。	

事務事業評価シート(平成27年度実施事務事業)

担当部署名	上下水道部 経営企画課	担当課長名	水越 英樹
(※)第2期実施計画の事業名	水道経営健全化事業	財務会計上の事業名	
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	3063 1	財務会計上の短縮番号	
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち	
	節	第6節上水道事業の充実	
	項目	項目3持続的な健全経営の推進	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input checked="" type="checkbox"/> 企業会計 (水道事業)
事業の目的 (どのような結果を得るか)	安定給水と黒字経営の維持
事業の対象 (誰を、何を)	水道事業
事業の手段・方法 (どのように)	経営の健全化策を実施する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 23 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度 ～ 平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	

2 事業費等

区分	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (予算)	H27/H26	
事業費(千円)					-	
主な内訳					-	
					-	
人件費(人・千円)	0.35 2,730	0.20 1,560	0.20 1,520	0.20 1,480	100.0%	
内訳	正職員	0.35 2,730	0.20 1,560	0.20 1,520	0.20 1,480	100.0%
	再任用短時間勤務職員	0	0	0	0	-
	任期付職員(フルタイム)	0	0	0	0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0	0	0	0	-
	非常勤職員	0	0	0	0	-
臨時的任用職員	0	0	0	0	-	
支出合計 A	2,730	1,560	1,520	1,480	97.4%	
財源	国・府支出金				-	
	地方債				-	
	その他()				-	
	うち受益者負担 B					-
一般財源 C	2,730	1,560	1,520	1,480	97.4%	
一般財源比率 C÷A	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
受益者負担率 B÷A					-	
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し					
上記の内容						

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	経営の健全化策を検討する業務自体は職員自らが主体的に実施すべきものである。ただし、経営健全化のための手段として、水道料金徴収業務等の委託は可能である。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内容	単位	25年度	26年度	27年度	28年度	目標値 (H30)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
指標値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	黒字額(当年度純利益)	千円	291,555	-212,634	345,970	28,765	0
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		黒字を確保したため						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)		平成27年度から浄水場の夜間運転管理業務を委託化し、平成28年度からは水道料金徴収業務等の委託化を実施する予定で、経営の健全化が順調に推移しているため。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成23年度～平成27年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 27 年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	平成27年度から浄水場の夜間運転管理業務の委託化を実施。	
平成28年度の取組(平成27年度比)	<input checked="" type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	水道料金徴収業務等の委託化を実施する。	
現在抱える課題と対策	課題	水需要の減少による給水収益の減。耐震、更新需要の増。
	対策	アセットマネジメントの手法を導入。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成29年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	黒字経営ではあるが、有収水量の減少や事業費の増加等厳しい状況が予想される中、水道料金徴収業務等の委託やアセットマネジメントの導入による健全化に向け、今後も事業を継続していく。	